

審査委員長特別賞

森の料理教室 地域の食材をめぐるコミュニティセンター

山形県 | 山形県立新庄神室産業高等学校 選手…3年生4名



提案は地域の食材でコミュニティをつくるのである。地元で採れるウドやコゴミ、アユやジャコ、ナスやニラなど、地元の豊富な山・川・畑の幸を種に、学習・採取・料理・飲食という4つのカテゴリーを設け、人の出会いや集まりの空間をつくり、コミュニティのコアをつくり出すというコンセプトである。

建築の提案も4つのカテゴリーによるゾーニングから木質シェル構造で構成し、生まれた形は自然豊かな環境とよく調和している。発想から物的計画まで段階を追ってのまとめ方がわかりやすく、しっかりしているの、審査委員長特別賞を送りたい。

計画地近くの町を知っていることから敢えて一言加えれば、自然豊かな敷地に惹かれる選択肢も理解できるが、建築を際立たせるには成功しているものの、人が行き来し出会うコミュニティ施設の環境としてはどうだろうか。このコンセプトならば、もう少し既存の町や村に近い場所で、近隣から見え行きやすい所という選択肢もあったのではないだろうか。歩いて行ける立ち寄り感やふと出会う気楽さがあれば、もっと自然にコミュニティの核になれるのではないかと思われる。審査委員全体



の評価も高かっただけに、何となく拭えない立地する位置の孤立感が残念でならない。
(片山)

教育・事業本委員長特別賞

にのイチ ～`神戸の台所、から`二宮の台所、へ～

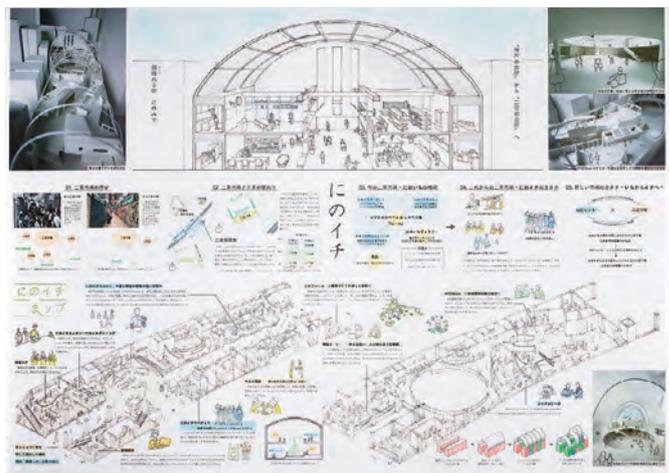
兵庫県 | 明石工業高等専門学校 選手…3年生4名



計画地の設定は、かなり歴史的な背景や現況の調査をされたことがみえてくる。二宮市場の賑やかさを取り戻し、なおかつ地区センターとのコラボに取り組む基本的計画はやりがいが見えてくる。この建築甲子園に兵庫県より4校8名の参加があって、その中で代表となった「にのイチ」の提案内容には楽しさを感じる。

現在、市場はシャッター通りとなり、建物の老朽化、店主の高齢化により経営の難しい市場であると思われる。全国的にみても同じ状況または近い状態の市場や商店街は少ない。市場を建て替えることで賑わいを取り戻すために、その中に市場の役割と地区センターの役割を使い合わせるサイクル化が計画されているのが良い。互いの用途を活かし相乗効果が期待できるゾーニングであり、連携感のある「にのイチ」キッチン、ダイニング、マーケット、中央広場、情報コーナー、図書館、地域貢献活動の拠点、レンタルブース、にのファーム等多くの用途を上手に組み合わせることで、ただ建て替えるのではなく、市場の主役が使う側であり提供側にもなっていくことがよくわかる計画である。

作品のプレゼンについても、立体的な表現による全体像がわかりや



すい。「にのイチマップ」は各用途の使い方のわかりやすい平面図、パースの断面図、基本的な構造が可視化されていてプレゼンとしてもとても感動しました。教育・事業本委員長特別賞受賞おめでとう。(竹江)